

「すご味・モノ」売り込み

食品や工芸品 150社 松山で商談会

県の「すご味」「すごモノ」の両データベースに掲載されている企業を対象にした展示・商談会が20日、



県外バイヤー（左）に自社商品を売り込む県内企業の担当者＝20日午前、松山市一番町3丁目

松山市内のホテルであり、食品や工芸品など約150社が自慢の逸品をPRした。

「すご味」「すごモノ」企業の販路開拓を支援しようと、県と県商工会連合会が主催。百貨店やスーパーなど県外から34社42人、県内から4社13人のバイヤーが参加した。

県内企業は各バイヤーのブースを回り、商品やパンフレットを使ってアピール。商品の展示コーナーもあり、約80社が出品した。

百貨店の松屋（東京）で

タオルや寝具のバイヤーを務める峯田道広さんは「今治タオルのメーカーと商談をしたくて参加した。多くのメーカーの話を聞くことで、成約につながるいいきっかけになる」と期待していた。

砥部町の木工メーカー「LINK WOOD DESIGN」の井上大輔代表取締役は「バイヤーがどんな商品を求めているか情報を集め、自社製品との差を縮めていきたい」と意欲を語っていた。

（渡部竜太郎）